

全国共同利用システムメールサーバ (nucc) の更新について

山 口 由 紀 子

．はじめに

情報連携基盤センター全国共同利用システムのメールサーバnuccは、新年度から新しいシステムで運用します。今回のシステム更新では、WebMailなどの新しいサービスを運用するためにこれまでの更新と違って多くの変更があります。最初のうちは利用に戸惑うかもしれませんが、基盤センターのホームページ

(http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/sys_riyou/nucc/nucctebiki.htm) に説明資料を載せてありますので、参照して利用してください。

．主な変更点

新システムでの主な変更点は以下のとおりです。

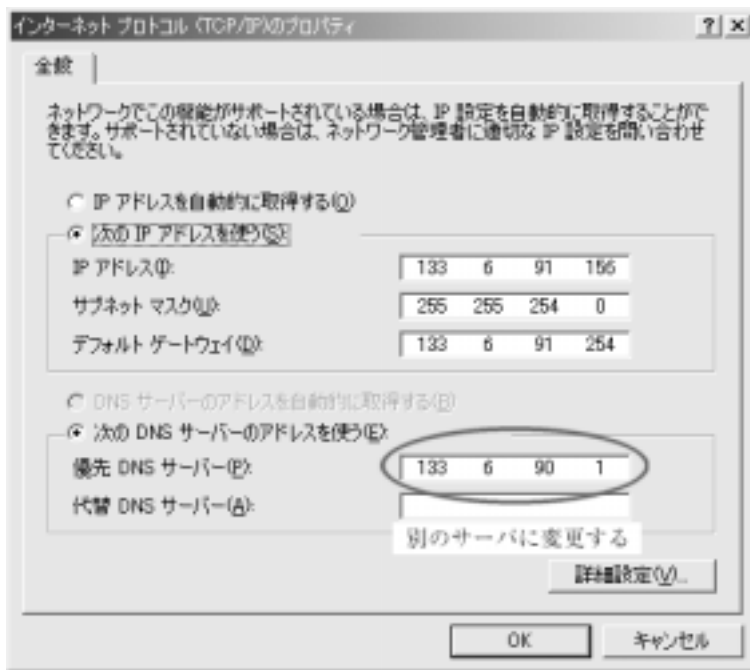
表 1 新システムの変更点

| | 旧システム | 新システム |
|----------------|------------------------|------------------------|
| ホスト名 | nucc.cc.nagoya-u.ac.jp | nucc.cc.nagoya-u.ac.jp |
| IPアドレス | 1 3 3 . 6 . 9 0 . 1 | 1 3 3 . 6 . 1 . 1 6 0 |
| メールクライアントプロトコル | POP | IMAP |
| メール送信の際の認証 | POP before SMTP | SMTP - AUTH |
| メールスプールの利用制限 | なし | 1 GB |

IPアドレスの変更については、各種設定がホスト名で行ってあれば影響はありませんが、パソコンのインターネットプロトコルの設定などでIPアドレスを記述している場合には、変更が必要です。DNSサーバについては、身近なサーバを利用する方がネットワーク負荷の点からも好ましいので、それぞれのネットワーク管理者へお問い合わせください。

新システムでは、メールクライアントで利用するプロトコルがPOPからIMAPに変更になります。また、メールを送信する際にSMTP-AUTHによる認証機構を導入しました。これによって、これまでメール送信の際に必要な「新着メールの確認」は不要となります。しかしながら、これまで利用してきたメールクライアント (Outlook Express, Eudoraなど) を継続して利用する場合には、環境設定を変更する必要があります。Outlook Expressについては、ホームページに設定手順の説明を載せてありますので参照してください。

なお、POPにしか対応していないメールソフト (AL-Mailや電信八号) は利用できなくなりますのでご注意ください。



nuccにログインしてメールを利用する場合も，mailコマンドやMHなどのツールが利用できなくなります。mailコマンドの代替としてmuttコマンドをご利用ください。また，メールの自動振り分けに利用してきたprocmailコマンドも利用できません。代替機能としてsieveをサービスしますので，SPAM（迷惑）メールやメーリングリストのメールなどの振り分けに利用してください。

・主なサービス

上記のような変更点がありますが，そのほかに，これまでどおりサービスを継続するもの，サービスを中止するもの，新たにサービスを開始するものがあります。

1．継続するサービス

以下のサービスは新システムでも継続して運用します。旧システムで設定されていたエイリアスやメーリングリストはそのまま新システムで利用できます。

- ✓ エイリアス（別名）サービス
- ✓ メーリングリストサービス
- ✓ 日英・英日翻訳サービス

また，platex, dvips, dvipdfmxなどの文書作成ツール，gv, acroreadなどのビューワ，netscapeなどのWebブラウザ，mnews, trnなどのネットワークニュースリーダなども継続してサービスします。

2. 中止するサービス

交換回線経由の無手順端末接続サービスは、新システムでは運用しません。これまで交換回線経由で無手順端末接続を利用していた場合は、PPPによる接続を利用してください。以下にPPP接続のサービス内容を示します。なお、これらの接続回線はこれまでと同様、情報連携基盤センター全国共同利用システムへしかアクセスできないように設定されています。

表2 新しいリモートアクセスサービス

| 回線種別 | 電話番号 | 通信速度 |
|-------------|--------------|-------------|
| 一般電話回線 | 052-789-1077 | 56Kbpsまで |
| ISDN回線 | | 64Kbps |
| PHS (PLAFS) | | 32 / 64Kbps |

. 新しいサービス

1. WebMail

新システムではWebMailサービスを行います。WebMailはブラウザからアクセスして利用するメールツールです。出張時などにPCを携帯しなくても、Webブラウザが利用できる環境があれば、nuccのメールを利用することができます。

WebMailのURLは<https://wm.cc.nagoya-u.ac.jp/>、ログイン名、パスワードはnuccのログイン名とパスワードと同じです。



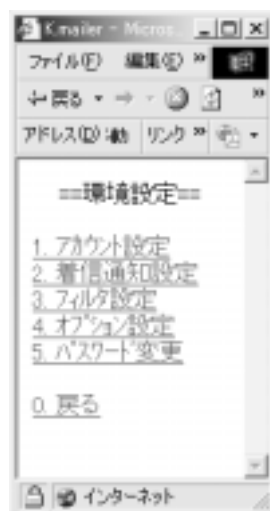
ログインに成功すると受信箱のメール一覧が表示されます。メールの本文を見る場合は、題名をクリックします。なお、WebMailからメールを送信する際には、SMTP-ATUHによる認証は必要ありません。



2. 携帯電話によるメールの送受信サービス

新システムではWebMailに加えて、携帯電話から直接メールサーバにアクセスしてメールを読み書きするサービス（以下、kmailer）を導入します。本サービスを利用することによって、nuccに届いたメールを携帯電話のメールアドレスへ転送する必要がなくなります。また、本サービスはメールサーバを3つまで指定できますので、nuccの他に自宅で利用しているISPのメールサーバなども利用することができます。

携帯電話メールサービスのURLは<https://km.cc.nagoya-u.ac.jp/kdot/mailler>です。ユーザIDはnuccと同じですが、パスワードはkmailer専用のパスワードです。各利用者のパスワードは、パスワード確認用のページを用意しますので、そちらで確認してください。kmailerでアクセスするメールサーバの設定は、環境設定メニューのアカウント設定で行います。以下の図は、パソコンのブラウザでの表示です。このように通常のブラウザからもアクセスできますので、利用開始時の初期設定はパソコンのブラウザで行う方がいいでしょう。



・おわりに

新メールサーバの旧システムからの変更点，新しいサービスについて紹介しました。今回のシステム更新では，WebMailサービスを運用する影響で数多くの変更が発生しました。したがって，WebMailサービスを多いに利用されることを期待します。

(やまぐち ゆきこ：名古屋大学情報連携基盤センター情報基盤ネットワーク研究部門)